

グランドデザイン、これもGから始まります

校長 皆川 渉

ひところより日が延びてきたことを実感する2月。昼間もお日様の光が、強くなってきたかなと感じますが、まだまだ真冬。通勤時に、自家用車の外気温計が氷点下を指す日も続いています。それでも、日差しに誘われてか、梅や紅寒桜、スイセンの花があちこちで咲き始めています。季節はゆっくりと春を目指しているのですね。

さて、今回は年度当初にみなさんにお知らせした『グランドデザイン』について書かせていただきます。

グランドデザインは、「学校の教育理念や果たすべき役割を描いた経営全体構想」です。簡単に言えば、校長が年度当初（4月）に『今年1年間、うちの学校が目指す姿はこれだ！』を広く知らせるために作成した1枚となります。茨城県内の公立の小・中学校ならば、どこでも作成されています。本年度も10ヶ月を経過して、目指す姿がどのくらい達成されたか検証する時期となりました。本校のグランドデザインには、教育活動の成果を検証できるように、保護者の皆様と児童生徒を対象とした学校評価アンケートの質問項目のいくつかを指標として位置付けています。

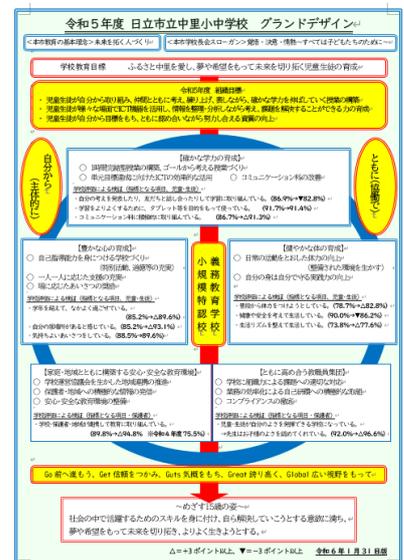
本日、学校だよりの裏面に載せた『グランドデザイン』をご覧ください。

今回のグランドデザインには、7月と12月に行った学校評価アンケートの数値の変化を、指標となる質問項目ごとに書き込んであります。多くの項目で数値の上昇が見られていることから、本校の教育活動は概ね成果を収めることができたと考えます。しかしながら、【確かな学力の育成】の「自分の考えを发表或し、友だちと話し合ったりして学習に取り組んでいる」が4ポイント程度減少しています。人数にすると3人程度となりますが、これが学校の課題と捉えます。

学力の育成について、学力は知識を蓄え、様々な技能を伸ばすだけではありません。知識や技能を生かして課題を解決するために考えたり判断したり表現したりする力（思考力・判断力・表現力）が肝要です。職員研修でも、特に力を入れてきたことです。もう一度、授業の進め方を確認して、考えを發表する場面や話し合いを通してよりよい答えを導き出す場面等を工夫していきたいと考えます。

一方で【家庭・地域とともに構築する安心・安全な教育環境】の指標である「学校・保護者・地域が連携して教育に取り組んでいる」は5ポイント上昇しています。この指標は昨年度75.5%だったので、昨年度比19.3ポイントの増です。コロナ感染症が5類に移行し、地域との行事が増えたことも要因に挙げられると考えます。この良い傾向を大切にしつつ、学校・保護者・地域の連携の在り方のについては、前例踏襲ではなく、今の中里小中にとって適している方法を模索していきたいところです。

グランドデザインをご覧になり、皆さんはどのようなことを感じられたでしょうか。きっと様々なご意見があることと存じます。本校の教育活動に生かせるご意見があれば、どうぞご遠慮なくご連絡ください。いただいたご意見は、本校に通う子供たちのために生かしてまいります。



《なかさとっ子 Column》

【新生徒会役員任命式】



【前期課程 書き初め会】



【大谷選手から贈られたグローブ】



【7～8年生 宿泊学習（スキー）】

